

授業 No.
2-6

高校出張講義実施概要

氏 名	南 尚嗣
学科 コース (主担当)	地球環境工学科 環境防災工学コース
職名	教授
授 業 題 目	“摩周湖”と“最先端化学”で地球環境汚染を監視
授 業 内 容	<p>摩周湖は近隣の人為活動を受けづらく、大気を経由した地球規模の環境汚染を監視できる条件を備えている世界的にも貴重な湖の1つであり、国連地球環境監視プログラムのベースラインステーションに日本で唯一登録されています。</p> <p>私達は、超微量重金属を測定する新しい化学分析方法を開発し、摩周湖水の分析に適用しました。その結果、化石燃料（重油など）燃焼排気由来の重金属が大気経由で摩周湖に降り注いでいる可能性を、初めて明らかにしました。“摩周湖”と“最先端化学研究”が、手を携えて達成した超高感度な地球環境汚染の監視です。</p> <p>講義では、調査写真や最新データを盛り込みながら、地球環境問題を解明するための研究について講義します。</p>
簡単な実験を行う場合はその内容	実験はおこないません。
授業に使用する機材 (高校が用意するもの等)	<p>パソコン接続が可能な「液晶プロジェクター」および「スクリーン」の使用を希望します。</p> <p>パソコンは持参します。</p>
デモンストレーションおよび参加型学習の有無	無し
備 考	

※実施時期は、概ね7月から11月の期間とします。